

形成外科

1. 領域構成教職員・在職期間

准教授	中井 國博	平成25年7月～
医員	浦邊 亮太郎	平成27年4月～
医員	宮前 誠	平成29年4月～
医員	李 穎	令和2年4月～令和5年9月～

2. 研究概要

研究概要

形成外科領域では体表全般における疾患を扱い、先天性体表異常や変形、また外傷や腫瘍により生じた欠損や変形に対する再建術など多岐にわたる。単に創傷が治癒閉鎖するだけでなく、機能面や整容面も重要視して治療を行っている。臨床面では再建術を中心とした形態学的検討を行い、基礎研究においては皮膚の構造と機能および創傷治癒に関連する病態の解析を進めるとともに機能面において知覚を主とした生体の反応の解明にも取り組む。

キーワード

形成外科、再建術、体表、創傷、神経障害、

業績年の進捗状況

臨床においては外傷や腫瘍などにより生じた欠損や変形に対する再建術に対して機能面や整容面も評価項目に入れながら形態学的検討を行った。足潰瘍患者における痛覚感受性と生理学的指標の関係に関する臨床研究に着手した。基礎研究においては動物モデルを用いた重症下肢虚血の痛みのメカニズムの解析に着手した。また、「手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングする機器PMS-1開発のための探索的医師主導治験」を行った。

特色等

形成外科領域では単に創傷が治癒するだけでなく、機能面や整容面も重要視して治療を行っていることが特色である。これにより治療を受けた患者さんの生活の質が格段に向上する。臨床面での課題を基礎研究において解析を進め、得られた知見を臨床に戻すことで臨床の充実を目指している。

本学の理念との関係

福井大学の理念を鑑みて、人々が健やかに暮らせるために世界的水準での独創的先端的医学研究を取り組むとともに、専門医療を実践できる人材育成を行い、地域、国および国際社会に貢献することを目指す。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2017～2022年分	2023年分	2017～2022年分	2023年分
和文原著論文	2	0	—	—
英文論文	ファーストオーサー	2	0(0)	1(1)
	コレスポンディング・オーサー	2	0(0)	1(1)
	その他	1	0(0)	4.511(4.511)
	合計	3	0(0)	5.511(5.511)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

23507001 Makoto Miyamae, Ryotaro Urabe, Kunihiro Nakai: Usefulness of perforating branches of the deep femoral artery and vein as recipient vessels during free-flap reconstruction for extensive defects of the thigh, Journal of Surgical Case Reports, 12, 1–4, 202312, DOI: 10.1093/jscr/rjad683（症例報告）, #0.5

23507002 Kazuya Kuroda, Koichiro Kiya, Shinsuke Matsuzaki, Hironori Takamura, Naoya Otani, Koichi Tomita, Kenichiro Kawai, Toshihiro Fujiwara, Kunihiro Nakai, Ayako Onishi, Taiichi Katayama, Tateki Kubo: Altered actin dynamics is possibly implicated in the inhibition of mechanical stimulation-induced dermal fibroblast differentiation into myofibroblasts, Experimental Dermatology, 22(11), 2012, 2022, 202311, DOI: 10.1111/exd.14022, #4.511

23507003 Ryotaro Urabe, Makoto Miyamae, Yoshiki Minegishi, Kunihiro Nakai: Surgical treatment for a giant venous malformation of the parotid area, Journal of Surgical Case Reports, 10, 1–3, 202310, DOI: 10.1093/jscr/rjad591（症例報告）, #0.5

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

23507004 中井 國博: 形成外科領域で処方される侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛に効果のある薬剤, PEPARS, 206, 16–23, 20240215

23507005 浦邊 亮太郎: 探求!マイナーエマージェンシー マイナー外傷でのエマージェンシー すねをぶつけてケガをしました 下腿裂傷の対応は慎重に, Medicina, 60(4), 286–290, 20230401, DOI: 10.11477/mf.140222886

23507006 宮前 誠: 探求!マイナーエマージェンシー 皮膚のエマージェンシー 爪周りから膿が出ます 陥入爪の初期対応をマスターせよ!, Medicina, 60(4), 158–162, 20230401, DOI: 10.11477/mf.1402228862

業績一覧

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

23507007

阿部かおり・島津研三・富田興一・田港見布江・宮前誠・中井國博・中江文：術式の違いによる乳がん手術後の遷延痛と知覚変化に関する後ろ向き研究，日本ペインクリニック学会第57回学術集会，佐賀市，20230714

23507008

浦邊亮太郎・宮前誠・田中喬子・櫻井ふみ・高井洋輝・中井國博：当科における眼窩内腫瘍の治療経験，第66回日本形成外科総会・学術集会，長崎市，20230427

23507009

宮前誠・浦邊亮太郎・田中喬子・櫻井ふみ・高井洋輝・中井國博：再発を繰り返し治療に難渋した大腿部chronic expanding hematomaの1例，第15回日本創傷外科学会総会・学術集会，東京，20230714

23507010

田港見布江・高瀬一葉・富田興一・宮前誠・浦邊亮太郎・中井國博・前田浩幸・阿部かおり・島津研三・久保盾貴：自家組織による乳房再建術後の乳房再建部位と皮弁採取部位における遷延痛と違和感に関する後ろ向き調査，第32回日本形成外科学会基礎学術集会，東京都，20231020

23507011

田港見布江・高瀬一葉・富田興一・久保盾貴・中井國博・前田浩幸・阿部かおり・増永奈苗・塚部昌美・草田義昭・三宅智博・多根井智紀・下田雅史・島津研三：乳がん手術後の遷延痛及び違和感についての発言状況に関する後ろ向き検討，第11回日本乳房オンコプラステックサージャリー学会総会，つくば市，20230922

d. 一般講演（ポスター）

23507012

宮前誠・浦邊亮太郎・田中喬子・櫻井ふみ・高井洋輝・中井國博：大腿部の組織欠損に対して遊離皮弁における再建術を施工する際の大腿深動脈の有用性についての検討，第66回日本形成外科総会・学術集会，長崎市，20230427

23507013

阿部かおり・増永奈苗・塚部昌美・草田義昭・三宅智博・多根井智紀・下田雅史・富田興一・田港見布江・中井國博・前田浩幸・島津研三：乳がん手術後の遷延痛と知覚変化に関する後ろ向き研究，第31回日本乳癌学会学術総会，横浜市，20230629

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

23507014

浦邊亮太郎・宮前誠・李穎・中井國博：血管奇形摘出に伴う変形に対して二期の修正術を行った症例についての検討，第57回中部形成外科学会，浜松市，20230708

23507015

浦邊亮太郎・宮前誠・中井國博：福井大学医学部附属病院におけるCLTI診療の取り組み，第101回北陸形成外科学会，金沢市，20240309

23507016

宮前誠・浦邊亮太郎・李穎・中井國博：治療に難渋した大腿部chronic expanding hematomaの1例で実施した治療法の術後経過，第100回北陸形成外科学会，金沢市，20230909

23507017

中井國博・浦邊亮太郎・宮前誠・李穎：松本法に改良を加えた耳介側頭溝を重視した埋没時手術の1例，第100回北陸形成外科学会，金沢市，20230909

23507018

宮前誠・浦邊亮太郎・中井國博：大腿部chronic expanding hematomaとして治療された後に胆管癌肉腫の転移と考えられた1例，第101回北陸形成外科学会，金沢市，20240309

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

業績一覧

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	下肢虚血におけるマクロファージに誘導される炎症による疼痛緩和メカニズムの解明	中井 國博		20230401-20260331	¥1,820,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	下肢虚血におけるマクロファージに誘導される炎症による疼痛緩和メカニズムの解明	中井 國博		20230401-20260331	¥1,820,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	PaMeLa株式会社	手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングする機器PMS-2 開発のための医師主導治験とそれに付随する研究	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20231002-20250331	¥7,200,000
共同研究	PaMeLa株式会社	手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングする機器PMS-2 開発のための医師主導治験とそれに付随する研究	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20231002-20250331	¥7,200,000
共同研究	PaMeLa株式会社	手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングする機器PMS-2 開発のための医師主導治験とそれに付随する研究	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20231002-20250331	¥7,200,000
共同研究	PaMeLa株式会社	手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングする機器PMS-2 開発のための医師主導治験とそれに付随する研究	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20231002-20250331	¥7,200,000
共同研究	国立大学法人大阪大学, PaMeLa株式会社	疼痛評価システムに関する研究開発	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20170906-20250331	¥16,605,000
共同研究	国立大学法人大阪大学, PaMeLa株式会社	疼痛評価システムに関する研究開発	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20170906-20250331	¥16,605,000
共同研究	国立大学法人大阪大学, PaMeLa株式会社	疼痛評価システムに関する研究開発	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20170906-20250331	¥16,605,000
共同研究	国立大学法人大阪大学, PaMeLa株式会社	疼痛評価システムに関する研究開発	中井 國博, 浦邊 亮太郎, 宮前 誠	20170906-20250331	¥16,605,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本頭蓋顎顔面学会	一般会員	中井 國博
日本形成外科学会学会	一般会員	中井 國博
日本形成外科手術手技学会	一般会員	中井 國博
日本マイクロサージャリー学会	一般会員	中井 國博
日本創傷外科学会	評議員	中井 國博
日本形成外科学会	一般会員	浦邊 亮太郎

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演 (口演)	第100回北陸形成外科学会	宮前 誠
一般講演 (口演)	第100回北陸形成外科学会	宮前 誠

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査)・委員の別	氏名	査読編数
日本形成外科学会会誌	査読		中井 國博	2
日本形成外科学会会誌	査読		中井 國博	2

(E) その他

23507019 わきが改善 自分で、治療で 福井大附属病院医師に聞いてみた（福井）、 20230810

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項